

鉄道による地域分断改善のための手法について

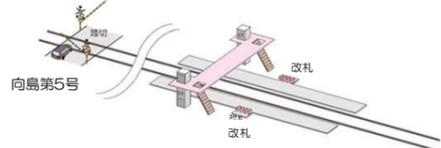
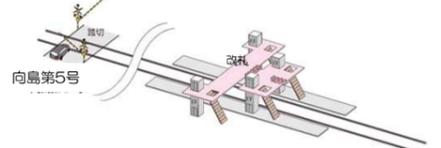
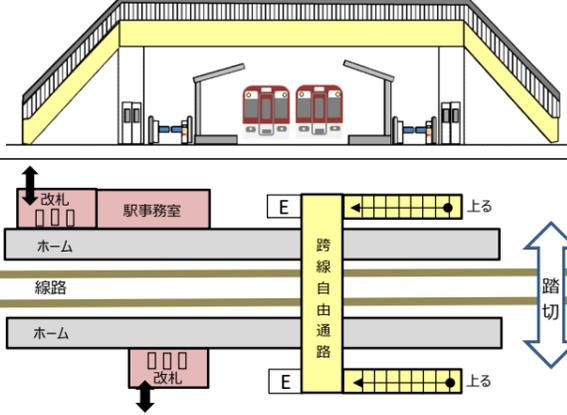
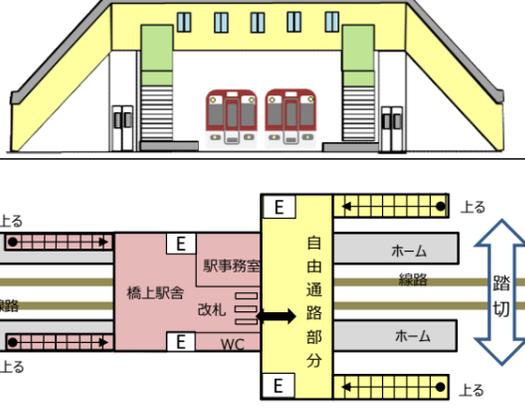
第6回 検討委員会 資料

令和3年10月15日（金）

近鉄小倉駅周辺地区まちづくり検討委員会

事務局 宇治市都市整備部都市計画課

2 鉄道による地域分断改善のための手法（①連続立体交差、②駅構内跨線橋を除く）

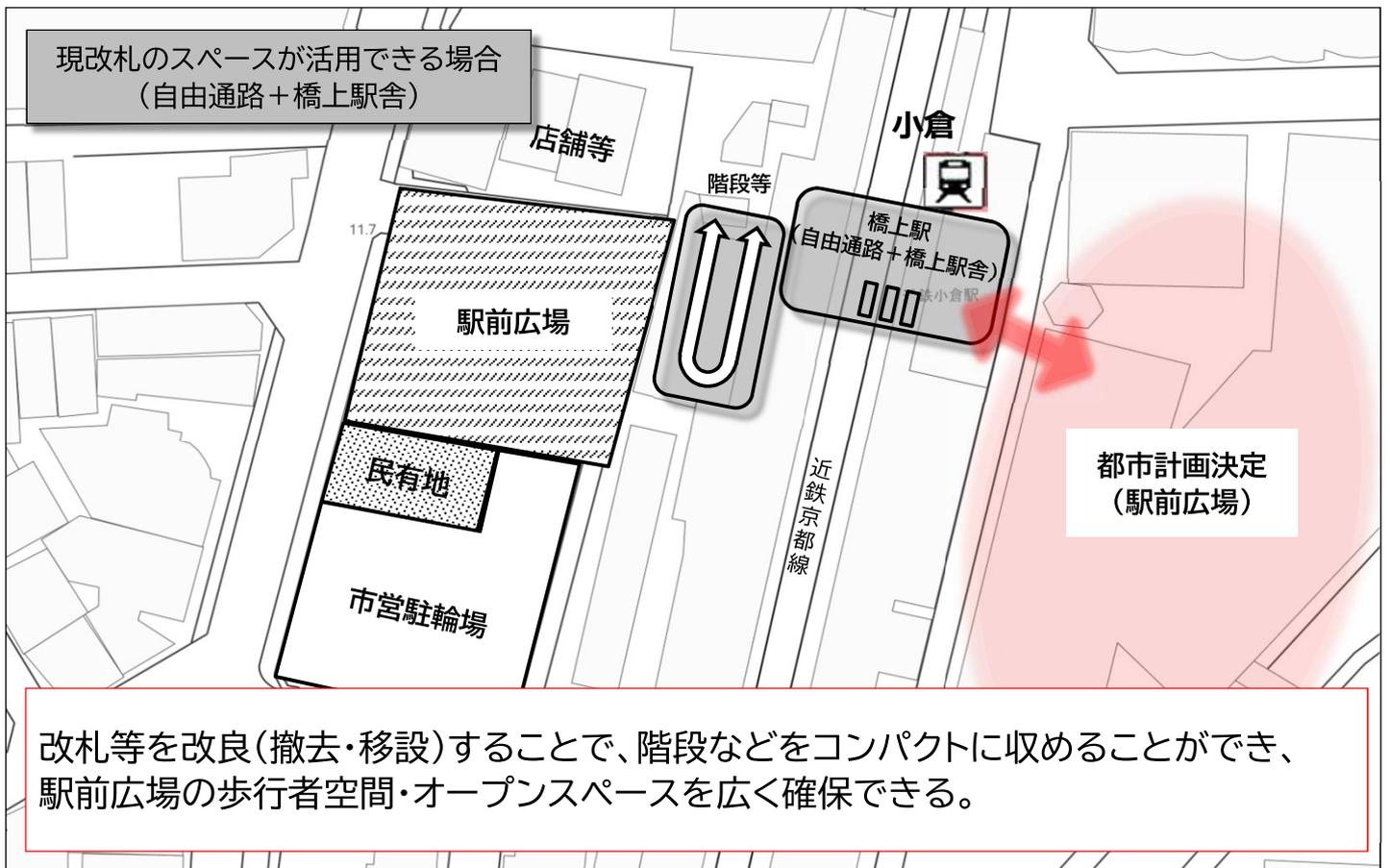
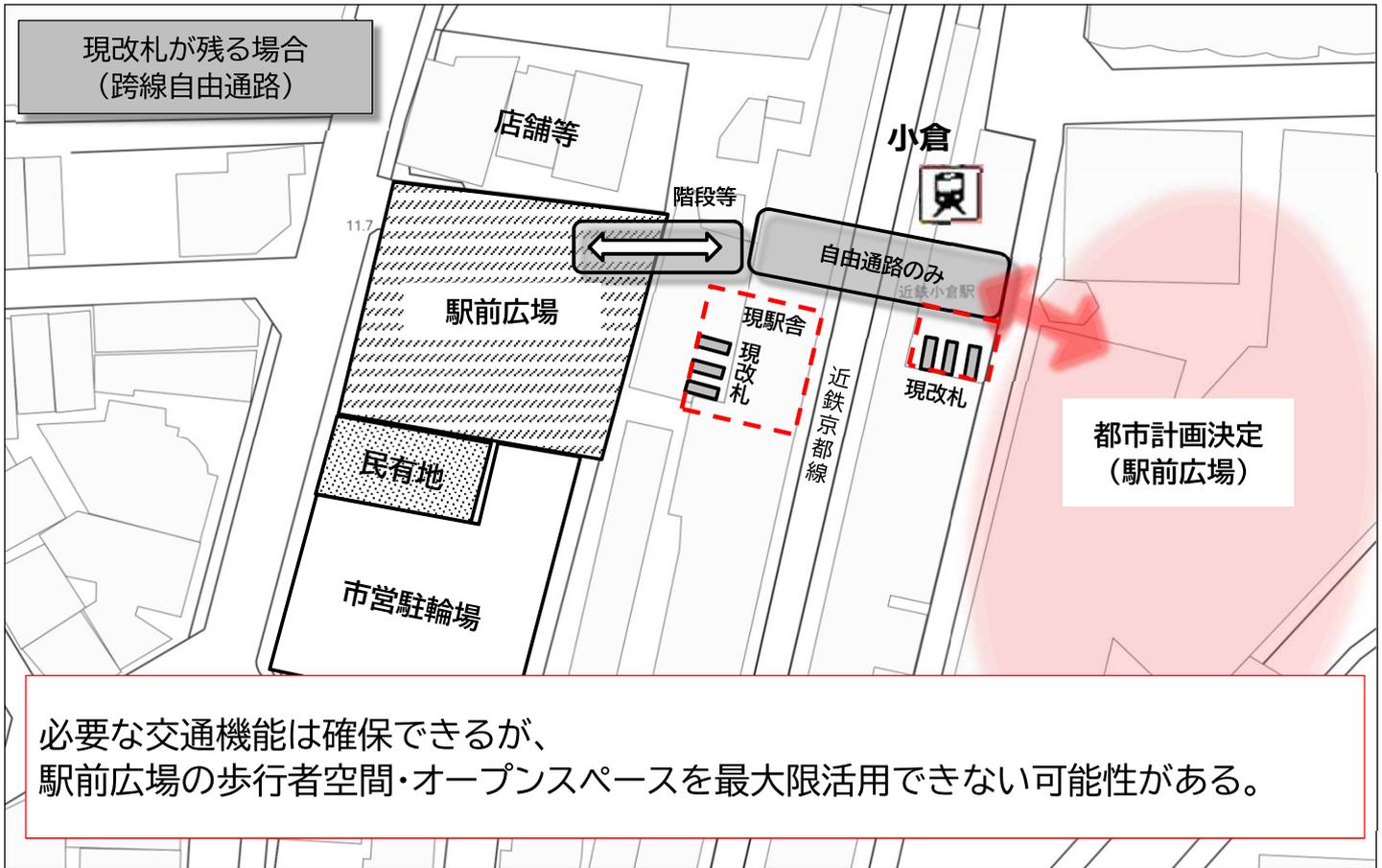
手法案		③跨線自由通路	④橋上駅舎
概要			
イメージ			
経済性 事業期間	概算事業費 (事例より・用地費除く)	約5~10億円 (自由通路)	約15~20億円 (自由通路+駅舎)
	概ねの事業期間	1~2年	
	都市計画決定までに要する期間	約1年 (用地取得などにかかる期間は含まない)	約2年 (用地取得などにかかる期間は含まない)
	工事期間 (工事着手~完了)	約1年 (用地取得などにかかる期間は含まない)	約2年 (用地取得などにかかる期間は含まない)

第4回での 評価	事業効果	大きい	より大きい
	まちの将来像の実現性	寄与する	より寄与する
	経済性・事業期間	事業費をより抑制でき、早期の効果発現が期待できる	事業費を抑制でき、早期の効果発現が期待できる

事業効果	まちの発展に関する効果	地域分断改善	歩行者の円滑な通行	自由通路部分を通行することで、駅東西の安全で円滑な移動が可能となる。
		自動車の円滑な通行	道路と鉄道が平面交差する状況は変わらず、改善はない。	
		歩行者の回遊性	歩行者の円滑な移動が可能となり、駅東西方向への移動機会が増加する。	
		関連事業の誘発 商業活動等への波及	人の東西移動が活発となり、既存商業施設での商業活性化が期待できる。	駅舎改築をはじめとする駅周辺整備によるまちの魅力の高まりなどによる人の東西移動の活性化により、既存商業施設での商業活動の活性化が期待できる。
		駅前広場用地との接続・・・※1	必要な交通機能は確保できるが、現改札が残ることで、階段などの設置範囲に制約が生じ、駅前広場の歩行者空間・オープンスペースを最大限活用できない可能性がある。	改札等を改良（撤去・移設）することで、階段などをコンパクトに収めることができ、駅前広場の歩行者空間・オープンスペースを広く確保できる。
		自由通路部分の利活用・・・※2	「自由通路部分」は通路としての機能のみで必要最小限の幅員となることが想定される。そのスペースの利活用としては、壁面への広告掲示等が考えられる。	駅利用者及び自由通路通行者のすべてが「自由通路部分」を通過するため、その空間を店舗利用、広報・企業広告、待合スペース等で多目的に利活用することもできる。
	安全なまちの形成に関する効果	バリアフリー化の推進	自由通路部分へ上がる（エレベータ、エスカレーター）必要はあるが、駅東西の移動はバリアフリー化される。	
		避難経路の確保	自由通路部分が避難情報により事前に避難する場合の経路として通行が可能となる。	
		より安全な軌道横断経路	既存踏切以外に自由通路が整備されることで、より安全な軌道横断ルートが選択可能となる。	
	鉄道利用者への効果	駅機能の利便性	現改札が残ることとなり、駅の機能は現状と変わらない。	トイレなど一部機能を集約することができる可能性がある。
		改札へのアクセス・・・※3	平面でのアクセスが可能。	上下移動が必要となる。
		駅舎の改善・・・※4	駅舎を既存利用するため改善はない。	駅舎を改築することにより駅自体にまちの玄関口再生のシンボルとしての役割を持たせることも可能。

まちの将来像の実現性	駅と駅周辺エリア	つなぐ	東西両側に駅前広場を整備することで、「東西の地域をつなぐ」、「道路と駅をつなぐ」ことができる。
	駅前エリア（東）	あつめる	歩行者の円滑な通行が可能となり、人を集める、サービスを集めることができる。
	駅前エリア（西）	いざなう	既設のままでは両側の改札口は現状のままで、駅西側へのアクセス性は現状とあまり変わらない。 改札口が線路上部に集約されることで、例えば京都方面からの降車客が、これまでより駅西側へ向かいやすくなり、駅前エリア（西）へ「いざなう」機会を増やすことができる。

※1.駅前広場用地(西側)との接続例 (跨線方式(跨線自由通路または橋上駅舎)での軌道横断概略検討)



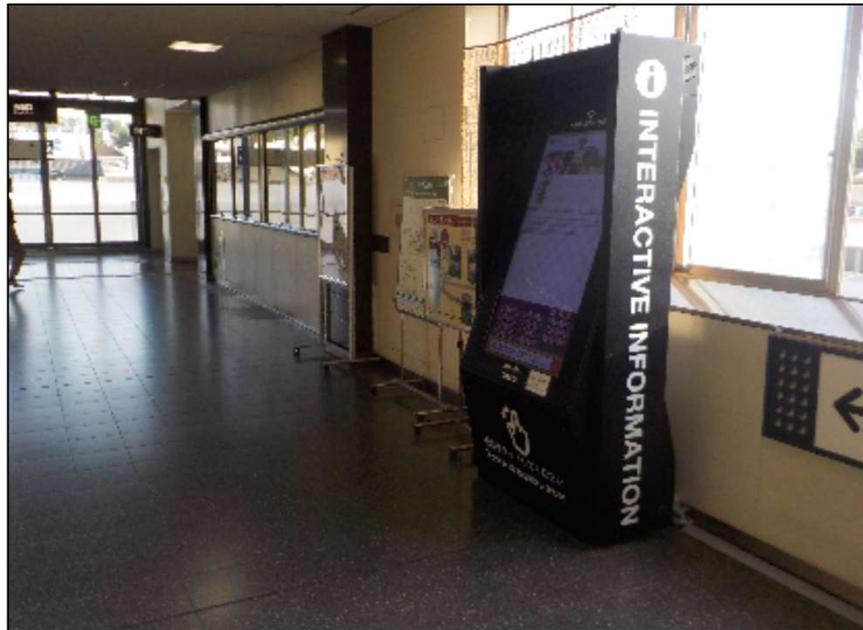
※2. 橋上駅舎のイメージ(JR宇治駅)



改札前の様子



イベントの様子(野菜などの直売)



デジタルサイネージ(観光案内)

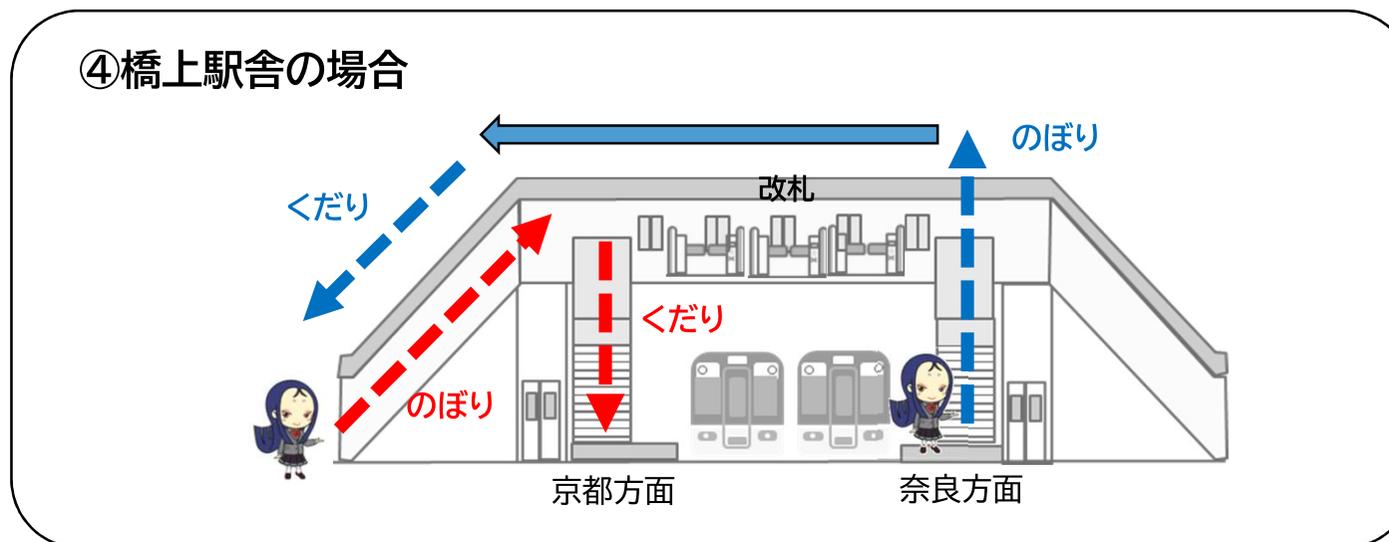
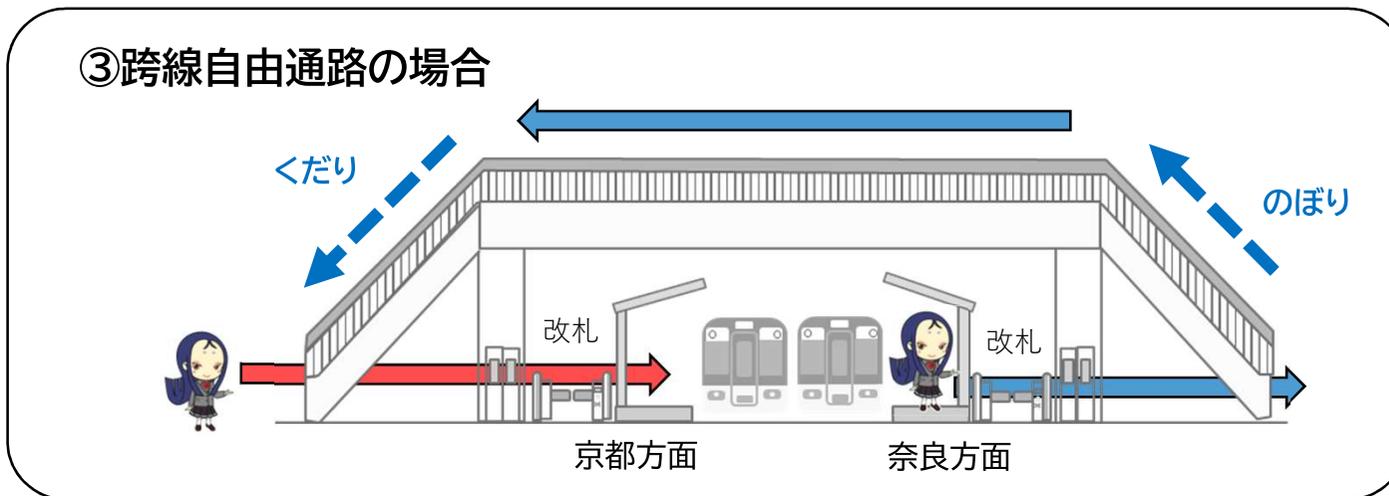


広告等の掲示スペース

※3.改札へのアクセス・駅利用時の往復移動

<例>

往路(赤):小倉(京都方面行ホーム)→京都方面 / 復路(青):京都方面→小倉(奈良方面行ホーム)



※4. 現在の駅舎の様子(参考)

駅西口



駅東口

